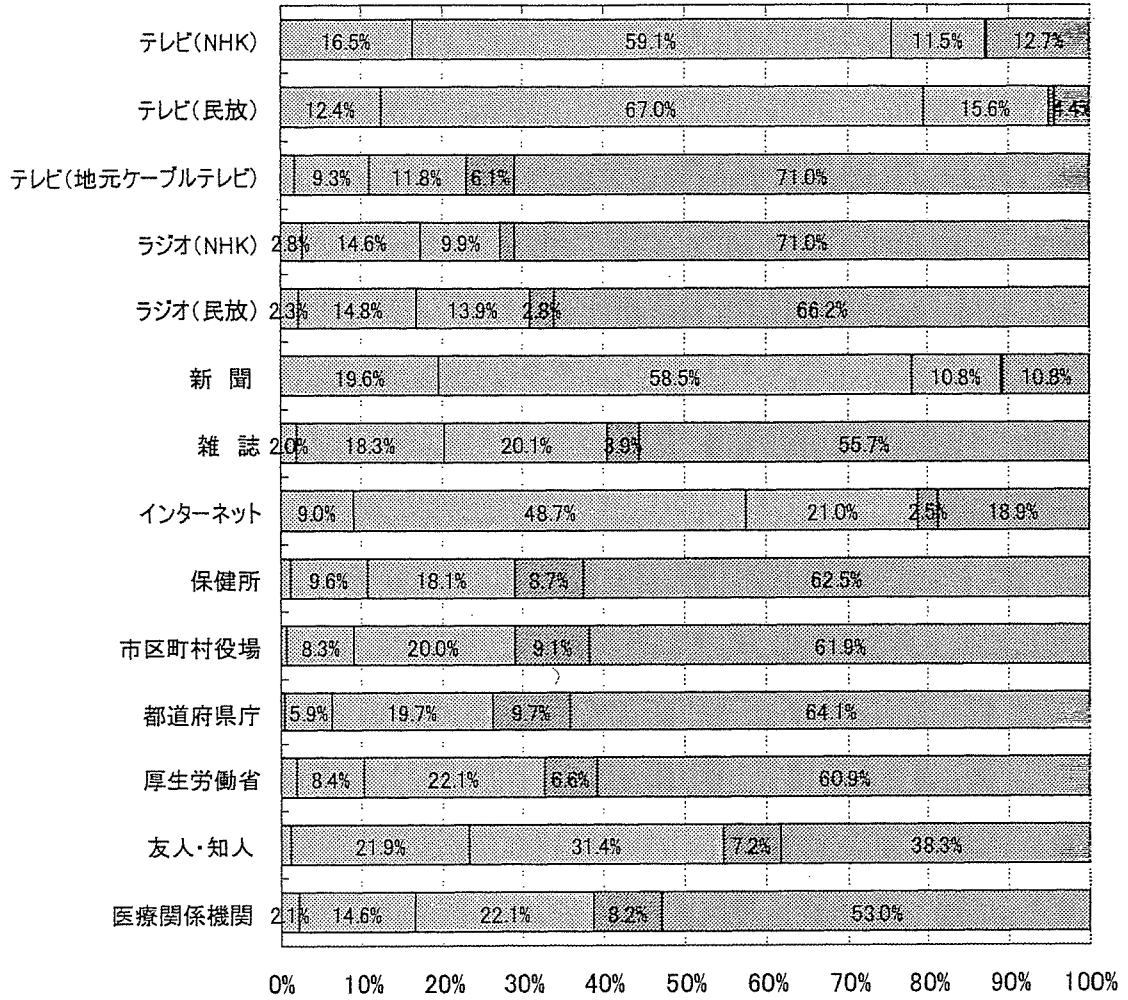
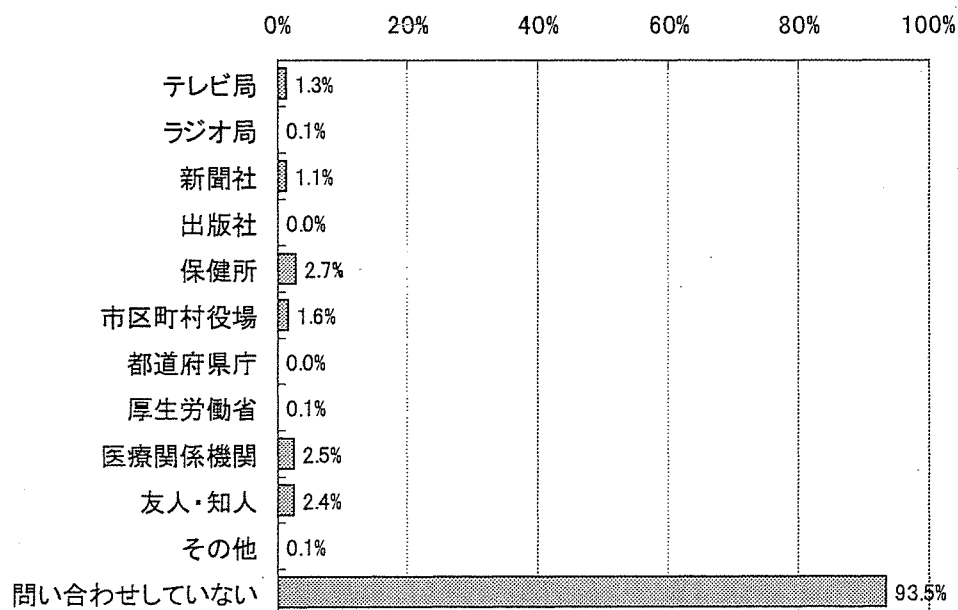


十分に得られた
  まあまあ得られた
  あまり得られなかった
  全く得られなかった
  利用していない



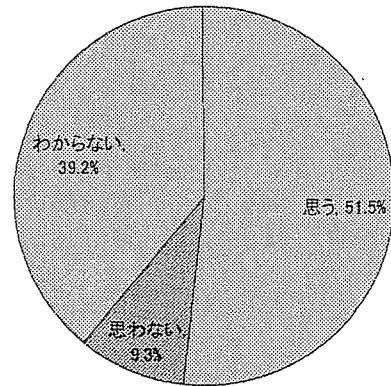
問6 必要な情報を得るために、どこかへ問い合わせをしましたか。(複数回答可)

選択肢	N	比率
テレビ局	9	1.3%
ラジオ局	1	0.1%
新聞社	8	1.1%
出版社	0	0.0%
保健所	19	2.7%
市区町村役場	11	1.6%
都道府県庁	0	0.0%
厚生労働省	1	0.1%
医療関係機関	18	2.5%
友人・知人	17	2.4%
その他	1	0.1%
問い合わせしていない	665	93.5%



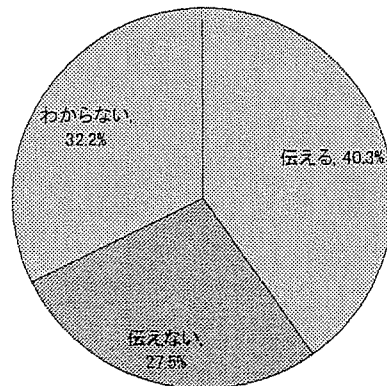
問7 これらの感染症の流行が、自分の身近で起きると思いますか。

選択肢	N	比率
思う	367	51.5%
思わない	66	9.3%
わからない	279	39.2%



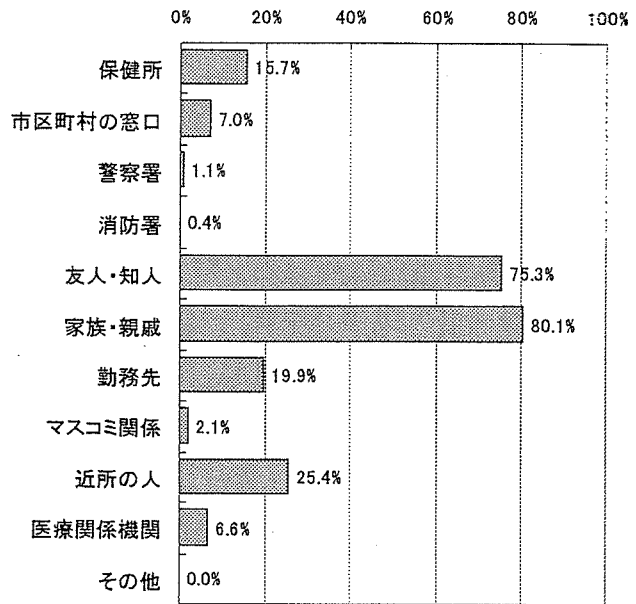
問8 「最近、〇〇町のあたりでは原因不明の発熱で病院へ行く人が増えているらしい。何か悪い病気でも流行っているんじゃないだろうか」といったような真実であるかどうかわからない内容の噂話を聞いた場合、この話を誰かに伝えますか。

選択肢	N	比率
伝える	287	40.3%
伝えない	196	27.5%
わからない	229	32.2%



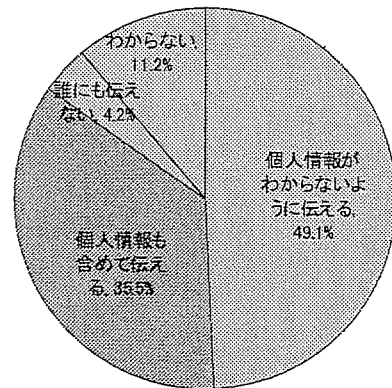
問9-1 その噂を誰（どこ）に伝えますか。（複数回答可）

選択肢	N	比率
保健所	45	15.7%
市区町村の窓口	20	7.0%
警察署	3	1.1%
消防署	1	0.4%
友人・知人	216	75.3%
家族・親戚	230	80.1%
勤務先	57	19.9%
マスコミ関係	6	2.1%
近所の人	73	25.4%
医療関係機関	19	6.6%
その他	0	0.0%



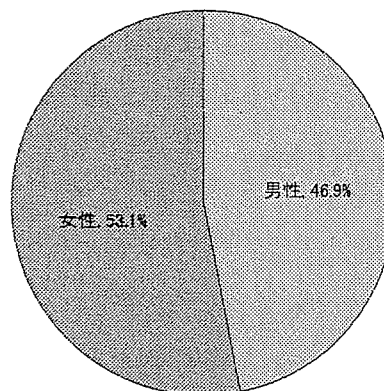
問9-2 その噂の中に、個人を特定できるような情報（個人名等）が含まれていた場合、どうしますか。

選択肢	N	比率
個人情報かわからないように伝える	141	49.1%
個人情報も含めて伝える	102	35.5%
誰にも伝えない	12	4.2%
わからない	32	11.2%



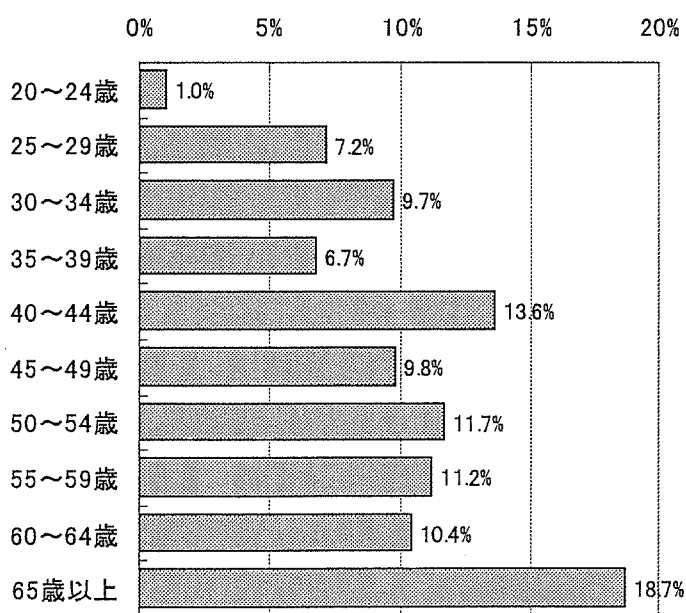
問10 性別

選択肢	N	比率
男性	334	46.9%
女性	378	53.1%



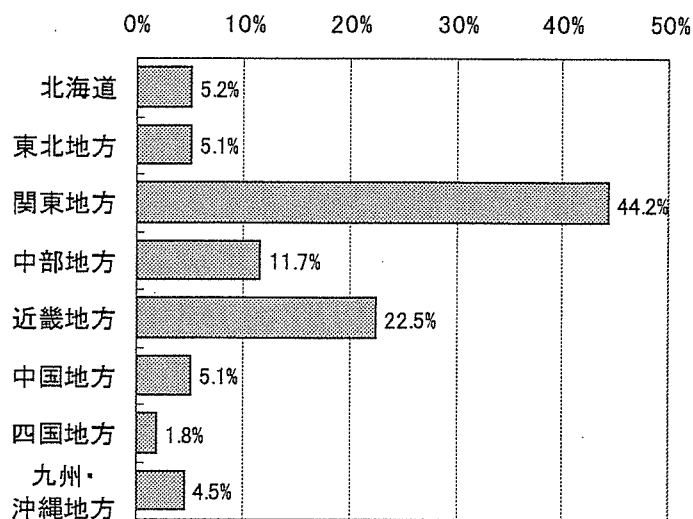
問11 年齢

選択肢	N	比率
20～24歳	7	1.0%
25～29歳	51	7.2%
30～34歳	69	9.7%
35～39歳	48	6.7%
40～44歳	97	13.6%
45～49歳	70	9.8%
50～54歳	83	11.7%
55～59歳	80	11.2%
60～64歳	74	10.4%
65歳以上	133	18.7%



問12 居住地域

選択肢	N	比率
北海道	37	5.2%
東北地方	36	5.1%
関東地方	315	44.2%
中部地方	83	11.7%
近畿地方	160	22.5%
中国地方	36	5.1%
四国地方	13	1.8%
九州・沖縄地方	32	4.5%



問13 最終学歴

選択肢	N	比率
新制中学校、旧制小学校、高等小学校	16	2.3%
新制高校、旧制中学校、高等女学校	198	27.8%
短大・高専、旧制高校・専門学校	133	18.7%
大学・大学院	353	49.6%
その他	12	1.7%

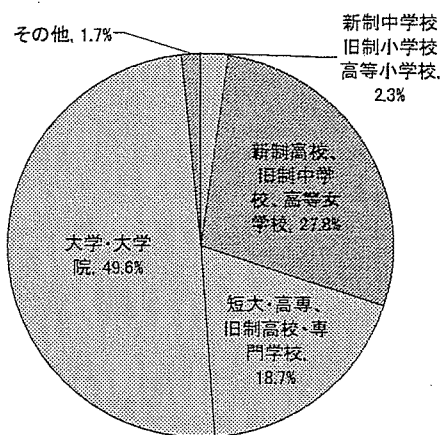


表2. アンケート調査結果による情報伝達の3年間(平成16-18年)の経年変化

問1 過去に発生・流行した感染症で知っているもの (n=712)

	1回目	2回目	3回目
BSE(狂牛病/牛海綿状脳障害)	99.4% (708)	99.7% (710)	99.0% (705)
SARS(重症急性呼吸器症候群)	91.7% (653)	89.9% (640)	88.5% (630)
ウエストナイル熱/肺炎	50.3% (358)	59.3% (422)	55.8% (397)
高病原性鳥インフルエンザ	88.1% (627)	91.7% (653)	96.1% (684)
結核	91.6% (652)	92.1% (656)	92.8% (661)
病原性大腸菌O-157	96.6% (688)	96.9% (690)	97.8% (696)
その他	4.2% (30)	2.9% (21)	6.0% (43)
この中に知っているものはない	0.1% (1)	0.3% (2)	0.1% (1)

問3-1 B S E (狂牛病/牛海綿状脳障害) -発生・流行した時期 (n=712)

	1回目	2回目	3回目
昭和63年以前	3.1% (22)	2.4% (17)	3.4% (24)
平成元年から平成5年	5.9% (42)	6.0% (43)	9.1% (65)
平成6年から平成10年	14.5% (103)	16.9% (120)	20.2% (144)
平成11年から平成15年	69.0% (491)	61.8% (440)	50.6% (360)
平成16年以降	17.1% (122)	17.6% (125)	17.7% (126)
わからない	8.6% (61)	11.7% (83)	16.7% (119)

問3-2 S A R S (重症急性呼吸器症候群) -発生・流行した時期 (n=712)

	1回目	2回目	3回目
昭和63年以前	0.1% (1)	0.3% (2)	1.1% (8)
平成元年から平成5年	1.1% (8)	2.5% (18)	3.1% (22)
平成6年から平成10年	6.5% (46)	6.0% (43)	10.4% (74)
平成11年から平成15年	64.2% (457)	57.9% (412)	46.9% (334)
平成16年以降	19.2% (137)	18.4% (131)	18.4% (131)
わからない	16.0% (114)	20.1% (143)	26.4% (188)

問3-3 ウエストナイル熱/肺炎-発生・流行した時期 (n=712)

	1回目	2回目	3回目
昭和63年以前	4.5% (32)	4.6% (33)	6.3% (45)
平成元年から平成5年	4.1% (29)	4.4% (31)	4.8% (34)
平成6年から平成10年	6.9% (49)	10.0% (71)	7.4% (53)
平成11年から平成15年	18.4% (131)	21.6% (154)	15.0% (107)
平成16年以降	7.3% (52)	7.7% (55)	8.1% (58)
わからない	64.7% (461)	57.4% (409)	63.5% (452)

問3-4 高病原性鳥インフルエンザ-発生・流行した時期 (n=712)

	1回目	2回目	3回目
昭和63年以前	0.7% (5)	1.1% (8)	0.4% (3)
平成元年から平成5年	1.1% (8)	1.1% (8)	2.7% (19)
平成6年から平成10年	3.4% (24)	3.8% (27)	6.6% (47)
平成11年から平成15年	47.3% (337)	39.2% (279)	42.3% (301)
平成16年以降	37.6% (268)	46.1% (328)	42.3% (301)
わからない	18.4% (131)	17.3% (123)	16.0% (114)

問3-5 結核-発生・流行した時期 (n=712)

	1回目	2回目	3回目
昭和63年以前	61.2% (436)	65.7% (468)	62.1% (442)
平成元年から平成5年	3.8% (27)	4.1% (29)	5.6% (40)
平成6年から平成10年	6.2% (44)	6.7% (48)	6.3% (45)
平成11年から平成15年	14.6% (104)	12.8% (91)	13.2% (94)
平成16年以降	5.8% (41)	5.5% (39)	8.1% (58)
わからない	24.7% (176)	23.0% (164)	25.6% (182)

問3-6 病原性大腸菌O-157-発生・流行した時期 (n=712)

	1回目	2回目	3回目
昭和63年以前	3.8% (27)	4.4% (31)	3.8% (27)
平成元年から平成5年	15.7% (112)	18.5% (132)	17.3% (123)
平成6年から平成10年	39.5% (281)	41.7% (297)	36.7% (261)
平成11年から平成15年	33.8% (241)	30.9% (220)	32.4% (231)
平成16年以降	4.2% (30)	5.8% (41)	9.7% (69)
わからない	12.9% (92)	14.2% (101)	18.0% (128)

問3-7 その他-発生・流行した時期 (n=712)

	1回目	2回目	3回目
昭和63年以前	1.7% (12)	2.1% (15)	1.8% (13)
平成元年から平成5年	0.6% (4)	0.8% (6)	0.1% (1)
平成6年から平成10年	0.7% (5)	0.6% (4)	0.0% (0)
平成11年から平成15年	0.8% (6)	0.4% (3)	0.1% (1)
平成16年以降	1.3% (9)	0.4% (3)	2.9% (21)
わからない	0.7% (5)	0.4% (3)	1.0% (7)

問4 感染症の流行について、知りたい情報 (n=712)

	1回目	2回目	3回目
いつ、どこで(どの範囲で)発生したか	71.6% (510)	71.9% (512)	74.9% (533)
何人くらい発症しているか	51.3% (365)	50.7% (361)	50.6% (360)
何人くらい死亡者がでているか	52.4% (373)	52.5% (374)	51.1% (364)
どのような症状が出るのか	87.6% (624)	87.5% (623)	86.5% (616)
かかった場合の死亡率はどれくらいか	61.0% (434)	58.7% (418)	58.0% (413)
原因となる菌、ウイルスは何か	66.2% (471)	63.5% (452)	61.1% (435)
感染経路(接触感染、空気感染)	81.0% (577)	81.7% (582)	80.3% (572)
感染の危険が予想される地帯	67.8% (483)	69.1% (492)	63.9% (455)
症状が出た場合、どうすればいいか	83.6% (595)	82.6% (588)	82.3% (586)
対応可能な病院・医療機関の情報	70.6% (503)	69.5% (495)	68.0% (484)
予防方法について	81.3% (579)	79.8% (568)	79.9% (569)
終息宣言について	46.3% (330)	47.5% (338)	46.5% (331)
特に必要ない	1.4% (10)	1.1% (8)	1.0% (7)



問5 知りたいと思った情報が以下の情報源から得られたか (n=712)

	1回目	2回目	3回目
テレビ(NHK)	16.3% (116)	16.2% (115)	16.4% (117)
テレビ(民放)	13.2% (94)	12.5% (89)	12.4% (88)
テレビ(地元ケーブルテレビ)	1.1% (8)	2.1% (15)	1.8% (13)
ラジオ(NHK)	2.0% (14)	3.1% (22)	2.8% (20)
ラジオ(民放)	1.7% (12)	2.7% (19)	2.2% (16)
新聞	21.3% (152)	19.1% (136)	19.5% (139)
雑誌	3.1% (22)	2.9% (21)	2.0% (14)
インターネット	9.1% (65)	9.6% (68)	9.0% (64)
保健所	1.0% (7)	0.8% (6)	1.1% (8)
市区町村役場	0.3% (2)	0.6% (4)	0.7% (5)
都道府県庁	0.1% (1)	0.8% (6)	0.6% (4)
厚生労働省	0.8% (6)	1.0% (7)	2.0% (14)
友人・知人	1.4% (10)	0.7% (5)	1.3% (9)
医療関係機関	1.3% (9)	1.5% (11)	2.1% (15)

問6 必要な情報を得るために問い合わせをしたか (n=712)

	1回目	2回目	3回目
テレビ局	0.8% (6)	0.3% (2)	1.3% (9)
ラジオ局	0.0% (0)	0.1% (1)	0.1% (1)
新聞社	0.6% (4)	0.6% (4)	1.1% (8)
出版社	0.0% (0)	0.1% (1)	0.0% (0)
保健所	2.0% (14)	1.5% (11)	2.7% (19)
市区町村役場	0.6% (4)	1.0% (7)	1.5% (11)
都道府県庁	0.1% (1)	0.1% (1)	0.0% (0)
厚生労働省	0.6% (4)	0.4% (3)	0.1% (1)
医療関係機関	2.9% (21)	2.0% (14)	2.5% (18)
友人・知人	3.9% (28)	3.1% (22)	2.4% (17)
その他	0.3% (2)	0.3% (2)	0.1% (1)
問い合わせしていない	92.3% (657)	93.8% (668)	93.4% (665)

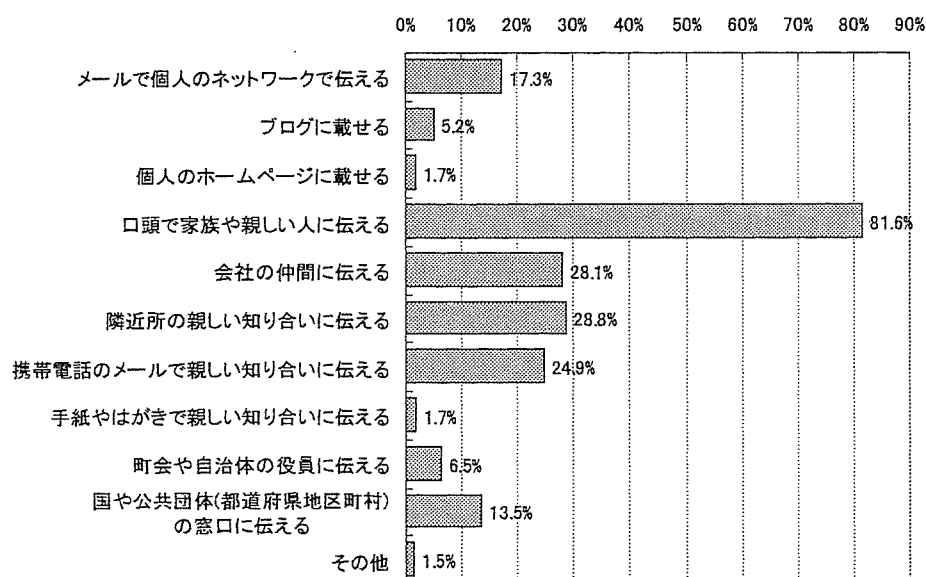
問9-1 誰(どこ)に伝えるか (n=146)

	1回目	2回目	3回目
保健所	16.4% (24)	20.5% (30)	20.5% (30)
市区町村の窓口	8.2% (12)	7.5% (11)	8.2% (12)
警察署	2.1% (3)	0.0% (0)	0.0% (0)
消防署	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)
友人・知人	80.8% (118)	82.9% (121)	80.8% (118)
家族・親戚	77.4% (113)	82.2% (120)	79.5% (116)
勤務先	24.7% (36)	23.3% (34)	19.2% (28)
マスコミ関係	2.1% (3)	0.7% (1)	2.7% (4)
近所の人	29.5% (43)	25.3% (37)	30.1% (44)
医療関係機関	6.8% (10)	7.5% (11)	7.5% (11)
その他	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)

表3. 平成18年度、実験用ブログに対するアンケート調査（問14-16）への回答結果

問14 健康危機に係る各種情報を伝達する場合、あなたの考え方に近いものをお選びください。（複数回答可）

選択肢	n	比率
メールで個人のネットワークで伝える	123	17.3%
ブログに載せる	37	5.2%
個人のホームページに載せる	12	1.7%
口頭で家族や親しい人に伝える	581	81.6%
会社の仲間に伝える	200	28.1%
隣近所の親しい知り合いに伝える	205	28.8%
携帯電話のメールで親しい知り合いに伝える	177	24.9%
手紙やはがきで親しい知り合いに伝える	12	1.7%
町会や自治体の役員に伝える	46	6.5%
国や公共団体(都道府県地区町村)の窓口伝える	96	13.5%
その他	11	1.5%



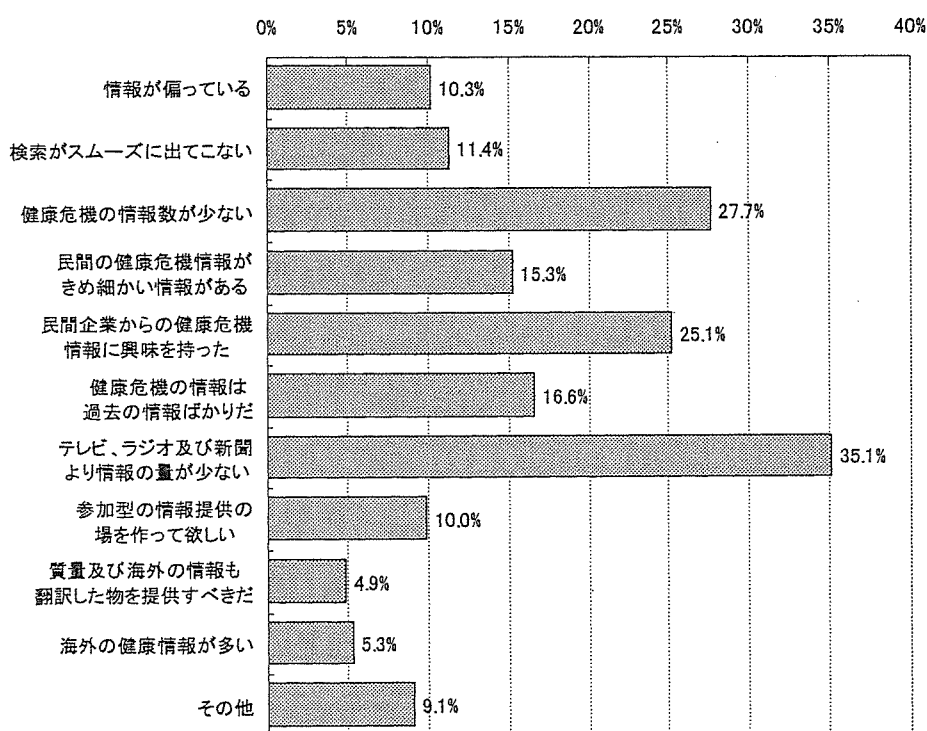
その他の回答内訳

- ・何もしない、伝えない 4
- ・その他 6
- ・未記載 1

「パソコンのメールや電話で知らせる」、「医療機関の指示に従う」、「家庭医」、「職場（医療機関）での対策を話し合う事を提案する。または、積極的に話し合いに参加する。」、「新聞社に連絡する」、「該当なし」

問15 実際に利用してみてどう思いましたか。(複数回答)

選択肢	n	比率
情報が偏っている	73	10.3%
検索がスムーズに出てこない	81	11.4%
健康危機の情報数が少ない	197	27.7%
民間の健康危機情報がきめ細かい情報がある	109	15.3%
民間企業からの健康危機情報に興味を持った	179	25.1%
健康危機の情報は過去の情報ばかりだ	118	16.6%
テレビ、ラジオ及び新聞より情報の量が少ない	250	35.1%
参加型の情報提供の場を作って欲しい	71	10.0%
質量及び海外の情報も翻訳した物を提供すべきだ	35	4.9%
海外の健康情報が多い	38	5.3%
その他	65	9.1%

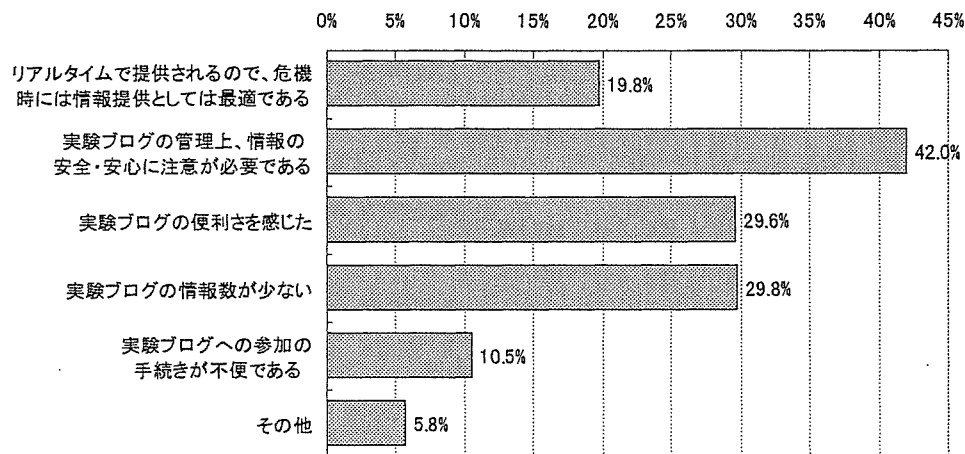


その他の回答内訳

- ・否定的意見 38
  - 「見づらい、使いにくい(レイアウト、操作、内容)」 25、「信頼性に疑問」 6、
  - 「興味がない、利用しない」 4、「情報不足」 3
- ・肯定的意見 9
  - 「興味深い」 2、「信頼できる」、「利用したい」、「面白かった」、「リンクがよくできている」、「色々な情報が入手できる」、「かなりの情報が得られ、見やすい」、「新たに知った情報は少なかつたものの内容的には良いと思う」各1
- ・要望 5
  - 「感染情報の一覧表がほしい」、「情報を端的につたえるべきだ」、「項目別に整理されて提供してほしい」、「権りやすい人の情報ももっと載せて欲しい」、「リンクは別ウィンドで開く方がよい」各1
- ・その他 13
  - 「何ともいえない」、「こんなもの」、「わからない」、「自分には関係ない」等

問16 この実験ブログについてどう思いましたか。(複数回答可)

選択肢	n	比率
実験ブログの情報提供が適時更新されリアルタイムで提供されるので、危機時には情報提供としては最適である	141	19.8%
実験ブログの管理上、情報の安全・安心に注意が必要である	299	42.0%
実験ブログの便利さを感じた	211	29.6%
実験ブログの情報数が少ない	212	29.8%
実験ブログへの参加の手続きが不便である	75	10.5%
その他	41	5.8%



その他の回答内訳

- ・否定的意見 26
  - 「情報の信頼性に疑問」 6、「ブログでやるものではない」 4、「興味がない、利用しない」 4、「面倒くさい」 2、その他 10
- ・肯定的意見 2
  - 「興味深い」、「最適かどうかは不明だが選択肢の一つ」各1
- ・わからない 5
- ・何も思わない、特になし 4
- ・その他 4
  - 「ホームドクターに聞くのが一番信頼できる」、「操作性と一覧性に工夫が欲しい」等

資料1. 情報伝播に関するアンケート（ブログ実験も含む）

近年のSARS、狂牛病、鳥インフルエンザ等の感染症の流行にみられるように、私たちの生命や健康の安全が脅かされるような事態（健康危機）は、いつ発生するかわかりません。日頃の健康管理を怠らないことや、感染症に関する正確な知識や情報を得ることが、健康危機の発生予防や被害の拡大防止に有効な手段の一つであると考えられます。

そこで皆さまに、次のことについてお尋ねいたします。

問1 過去に発生・流行した感染症で知っているものをすべてあげてください。（複数回答）

1. BSE（狂牛病／牛海綿状脳障害）
2. SARS（重症急性呼吸器症候群）
3. ウエストナイル熱／肺炎
4. 高病原性鳥インフルエンザ
5. 結核
6. 病原性大腸菌O-157
7. その他（ ）
8. この中に知っているものはない

問2 最初にこれらの感染症の発生・流行を知ったのは、どの情報源からですか。

	テレビ	ラジオ	新聞	インターネット	家族が教えてくれた	友人・知人が教えてくれた	覚えていない	その他	発生・流行したことを知らない
1. BSE（狂牛病／牛海綿状脳障害）									
2. SARS（重症急性呼吸器症候群）									
3. ウエストナイル熱／肺炎									
4. 高病原性鳥インフルエンザ									
5. 結核									
6. 病原性大腸菌O-157									
7. その他（ ）									

問3 これらの感染症が発生・流行した時期について、あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

	昭和63年以前	平成元年から平成5年	平成6年から平成10年	平成11年から平成15年	平成16年以降	わからない
1. BSE (狂牛病/牛海綿状脳障害)						
2. SARS (重症急性呼吸器症候群)						
3. ウエストナイル熱/肺炎						
4. 高病原性鳥インフルエンザ						
5. 結核						
6. 病原性大腸菌O-157						
7. その他 ( )						

問4 これらの感染症の流行について、どのような情報が知りたいですか。(複数回答可)

1. いつ、どこで(どの範囲で)発生したか
2. 何人くらい発症しているか
3. 何人くらい死亡者がでているか
4. その感染症にかかるとどのような症状が出るのか
5. その感染症にかかった場合の死亡率はどれくらいか
6. その感染症の原因となる菌、ウイルスは何か
7. その感染症の感染経路(接触感染、空気感染)について
8. 感染の危険が予想される地帯についてについて
9. その感染症の症状が出た場合、どうすればいいのか
10. その感染症に対応可能な病院・医療機関の情報について
11. その感染症の予防方法について
12. 終息宣言について
13. 特に必要ない

問5 あなたが知りたいと思った情報が以下の情報源から得られましたか。

	十分に得られた	まあまあ得られた	あまり得られなかった	全く得られなかった	利用していない
1. テレビ (NHK)					
2. テレビ (民放)					
3. テレビ (地元ケーブルテレビ)					
4. ラジオ (NHK)					
5. ラジオ (民放)					
6. 新聞					
7. 雑誌					
8. インターネット					
9. 保健所					
10. 市区町村役場					
11. 都道府県庁					
12. 厚生労働省					
13. 友人・知人					
14. 医療関係機関					

問6 必要な情報を得るために、どこかへ問い合わせをしましたか。(複数回答可)

- |           |             |                |
|-----------|-------------|----------------|
| 1. テレビ局   | 2. ラジオ局     | 3. 新聞社         |
| 4. 出版社    | 5. 保健所      | 6. 市区町村役場      |
| 7. 都道府県庁  | 8. 厚生労働省    | 9. 医療関係機関      |
| 10. 友人・知人 | 11. その他 ( ) | 12. 問い合わせしていない |

問7 これらの感染症の流行が、自分の身近で起きると思いますか。

1. 思う
2. 思わない
3. わからない

問8 「最近、〇〇町のあたりでは原因不明の発熱で病院へ行く人が増えているらしい。何か悪い病気でも流行っているんじゃないだろうか」といったような真実であるかどうかどうわからない内容の噂話を聞いた場合、この話を誰かに伝えますか。

1. 伝える
2. 伝えない

3. わからない

問9 問8で(1)に回答した方に伺います。

・その噂を誰(どこ)に伝えますか。(複数回答可)

- |            |            |          |
|------------|------------|----------|
| 1. 保健所     | 2. 市区町村の窓口 | 3. 警察署   |
| 4. 消防署     | 5. 友人・知人   | 6. 家族・親戚 |
| 7. 勤務先     | 8. マスコミ関係  | 9. 近所の人  |
| 10. 医療関係機関 | 11. その他( ) |          |

・その噂の中に、個人を特定できるような情報(個人名等)が含まれていた場合、どうしますか。

1. 個人情報がわからないように伝える
2. 個人情報も含めて伝える
3. 誰にも伝えない
4. わからない



ご自身のことについてお伺いします。

問10 [性別]

1. 男
2. 女

問11 [年齢]

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20～24歳 | 2. 25～29歳 | 3. 30～34歳 |
| 4. 35～39歳 | 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 |
| 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 | 9. 60～64歳 |
| 10. 65歳以上 |           |           |

問12 [居住地域]

1. 北海道
2. 東北地方
3. 関東地方
4. 中部地方
5. 近畿地方
6. 中国地方
7. 四国地方
8. 九州・沖縄地方

問13 [最終学歴] ※学生の方は、現在在学中の学校を選択してください。

1. 新制中学校、旧制小学校、高等小学校
2. 新制高校、旧制中学校、高等女学校
3. 短大・高専、旧制高校・専門学校
4. 大学・大学院
5. その他（ ）

今回の実験ブログについてお伺いします。

問14 健康危機に係る各種情報を伝達する場合、あなたの考え方に近いものをお選びください。  
(複数回答可)

1. メールで個人のネットワークで伝える
2. ブログに載せる
3. 個人のホームページに載せる
4. 口頭で家族や親しい人に伝える
5. 会社の仲間に伝える
6. 隣近所の親しい知り合いに伝える
7. 携帯電話のメールで親しい知り合いに伝える
8. 手紙やはがきで親しい知り合いに伝える
9. 町会や自治体の役員に伝える
10. 国や公共団体(都道府県地区町村)の窓口伝える
11. その他

問15 実際に利用してみてどう思いましたか。(複数回答)

1. 情報が偏っている
2. 検索がスムーズに出てこない
3. 健康危機の情報数が少ない
4. 民間の健康危機情報がきめ細かい情報がある
5. 民間企業からの健康危機情報に興味を持った
6. 健康危機の情報は過去の情報ばかりだ
7. テレビ、ラジオ及び新聞より情報の量が少ない
8. 参加型の情報提供の場を作って欲しい
9. 質量及び海外の情報も翻訳した物を提供すべきだ
10. 海外の健康情報が多い
11. その他

問16 この実験ブログについてどう思いましたか。(複数回答可)

1. 実験ブログの情報提供が適時更新されリアルタイムで提供されるので、危機時には情報提供としては最適である
2. 実験ブログの管理上、情報の安全・安心に注意が必要である
3. 実験ブログの便利さを感じた
4. 実験ブログの情報数が少ない
5. 実験ブログへの参加の手続きが不便である
6. その他

## 資料2. 情報伝播に関する調査プロトコル（ブログ実験も含む）の概要

### 健康危機情報伝達・普及啓蒙ヒューマンネットワークモデルシステム

#### 実証実験調査研究のお願いについて

#### 1 調査目的

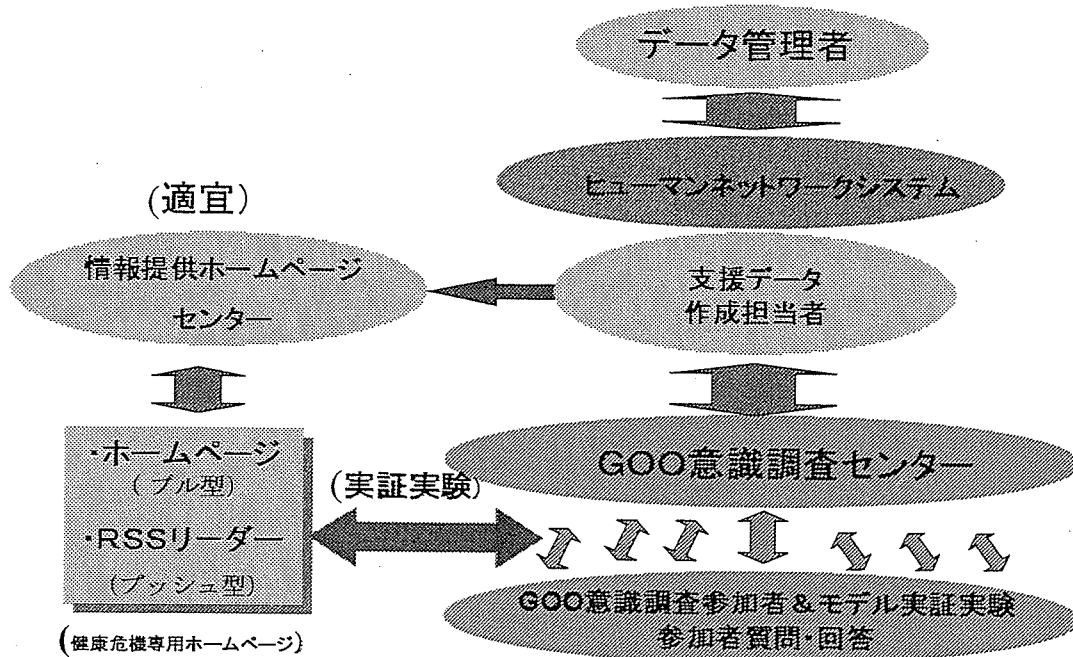
##### (1) 調査の目的

健康危機情報伝達・普及啓蒙ヒューマンネットワークモデルシステムでの実証実験に参加者の意見等を反映し、2日から3日の間のRssリーダーでの情報の伝達とホームページからの健康危機に関する検索等の使いかたで・要望等を実証実験で確認し今後の本調査研究の基礎資料を得ることを目的とする。

##### (2) 調査の参加について

- ① 地域の普及・啓蒙の手法として、ホームページ(Web)・ブログ(Weblog)及び社会ネットワークサービス(SNS)などの展開が見られる。こうした背景から本研究では、これら手法の特性を生かした調査を実施し、現時点のモデル手法として実施する。
  - ・ ホームページにアクセスして情報を取得するプル型手法
  - ・ ホームページにアクセスせずに情報を提供されるプッシュ型メディア手法どについて検討するために、国等で実施している健康危機情報に係る情報提供について、Web上で第三者の参加者による情報の周知度を確認し、情報の提供方式により情報の収集に差が有るのかの比較を実証実験調査として意識調査を実施しました。
- ② 今回で3年目の調査です。仕組みとしては、下記に示すスキームです。

図-1 健康危機情報伝達・普及啓蒙ヒューマンネットワークモデルシステム概要図



- ③ 実証実験のモデルシステムを作成して、健康危機情報に係る提供について、Web 上で第三者の参加者に健康危機情報を伝達の違いにより、提供取得と個人での仲間等への伝達方法について意識調査の中で確認するシステムを整備し、実証実験を行う。勿論模擬実験への参加について、本人の承諾の上で個人情報などに接触しない事を、周知確認し、参加者による情報の提供方式により情報の伝達について気が付いた点・不便なこと・要望などに差が有るのかの比較を実証実験調査として意識調査を実施する。

### (3) GOO を用いた参加型意識調査モデル実証実験質問・回答・手順

以下に意識調査の手順について説明致します。

#### ①意識調査参加

前回までの健康危機に参加頂き、回答頂きました参加者が対象です。

質問は、前回までの質問1～質問14までは、同じ質問です。

模擬実験参加者の有無を確認した上で、質問15～質問18が新たに情報の伝達、普及の実証実験への参加型質問です。

#### ②「質問1問から質問14」までの質問です。

#### ③「模擬実験参加者の有無」について確認頂きます。

#### ④「模擬実験参加者の有無」で、参加しない方々は意識調査終了です。

#### ⑤調査票の中の質問のアドレスをクリークして、